

歯科放射線学

[講義] 第2学年～第3学年 通年 選択 2単位

《担当者名》川島 雄介 (歯学部) kawashima-y@ 中谷 温紀 (歯学部) nakatani@ 杉浦 一考 (歯学部) sugi@

【概要】

歯科医療を行う上で必要な電離放射線の生体への影響、防護の原理と実際、各種画像検査及び画像診断に関する基礎的及び臨床的知識を学ぶ。

【学修目標】

一般目標

歯科医療を行う上で必要な電離放射線による被曝防護と画像検査及び画像診断ができるために、電離放射線の性質生体への影響、防護の原理と実際、各種画像検査及び画像診断に関する基礎的及び臨床的知識を身につける。

行動目標

電離放射線を含む画像検査の種類と特徴、及びその利用法を説明する。

電離放射線を含む画像検査による正常画像解剖を説明する。

各種画像検査を利用した疾患の基本的な画像所見、画像診断と鑑別診断を説明する。

電離放射線の生物学的作用、人体に対する影響と放射線防護の基本理念、および具体的な防護方法を説明する。

IVRと内視鏡検査の基本概念、具体的な利用方法を説明する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

川島雄介(歯科医師)、中谷温紀(歯科医師)、杉浦一考(歯科医師)

【実務経験を活かした教育内容】

歯科放射線学は、歯・顎・顔面・口腔領域の画像診断を通じて、歯科分野全般の治療方針の決定に寄与する科目であり、学理に立脚した学科教育と実務経験を基盤とした臨床教育で優れた教育成果が期待できる内容となっている。